



～ 青山中の全国学力・学習状況調査結果 ～

本年4月18日(木)に3年生を対象に実施された「令和6年度全国学力・学習状況調査」の結果が公表されました。この調査は、生徒の学力学習状況を把握し、授業や生活習慣の改善に役立てることを目的としています。本校では、実施後速やかに採点し、1学期の指導に活かしてきました。

この度、文部科学省から調査結果が送付されましたので、再度全教員で結果を分析しました。今後、成果や課題を学校・家庭・地域で共有し、取り組みをさらに充実していきます。このたよりでは、実施した教科(国語・数学)の結果(全国比)と各教科の課題や問題など一部を掲載します。

◎ 生徒の学力について(教科に関する調査結果から)

【国語】

青山中学校3年生の「国語」の平均正答率は、「全国と比べてほぼ同じである」という結果でした。

国語では、特に本校の生徒は、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することに課題があり、問題文を読み取る力と自分の考えを相手に伝えるように根拠を明確にして書く力、最後まであきらめずに問題を解こうとする意欲をつけていかなければなりません。

そのため、全学年全教科の授業において、根拠の適切さを考えて、説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えを発表したり、文章で表現したりする機会を多く取り入れていきます。

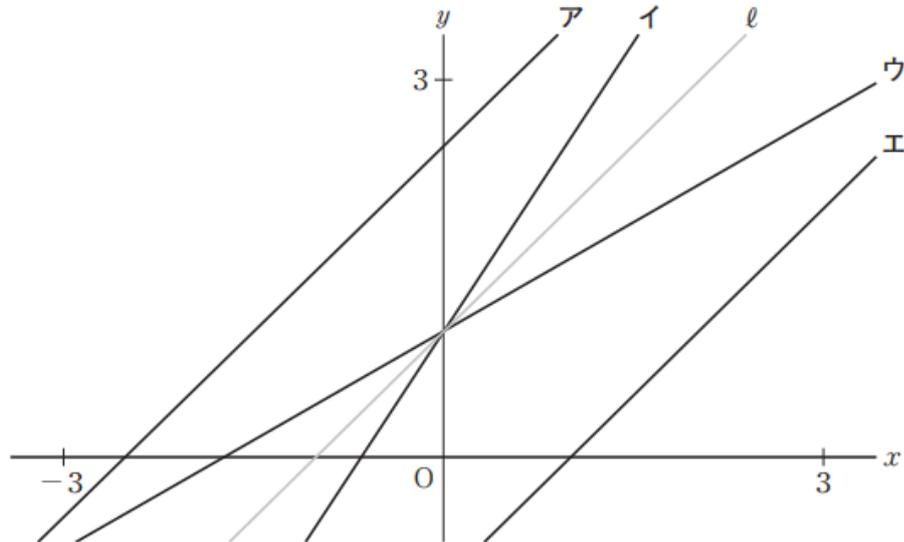
ここで、2年生で学習する『短歌の世界』の内容から出題された問題を紹介します。

問題4は、短歌を紹介するための資料を作る場面において、『表現の技法について理解すること』(設問一)と『短歌の内容について、描写を基に捉えること』(設問二)ができるかの問題です。 【問題は次のページ】

(設問一)は、Bの短歌の「蝸の声やみし夕暮れ」の部分に、表現の技法として、「体言止め」が用いられていることを理解していなければならない。

(設問二)では、Aの短歌の「雪野を照らす」は、日が暮れたあとの時間帯の情景、

- 4 一次関数 $y = ax + b$ のグラフについて考えます。下の図の直線 ℓ は $a = 1$ 、 $b = 1$ のときのグラフです。直線 ℓ に対して、 $b = 1$ を変えずに a の値を 1 より大きくしたときのグラフが、直線アからエまでの中にあります。それを 1 つ選びなさい。



この問題は、2年生で学習する『一次関数 $y = ax + b$ 』について、 a (傾き) や b (切片) の値とグラフの特徴を関連付けて理解しているかどうかをみる問題です。一次関数の式からグラフの特徴を判断するには、1年生で学習する『比例 $y = ax$ 』のグラフの特徴をとらえ直したり、3年生で学習する『関数 $y = ax^2$ 』のグラフについて学習したりするときに必要です。 解答 … イ

また、次に『全国の正答率との差が大きかった問題』は、確率を求める問題5でした。

※問題5 → 本校3年生の正答率は 66.2% (全国 73.1%) - 6.9%

- 5 2枚の10円硬貨^{こうか}を同時に投げるとき、2枚とも裏が出る確率を求めなさい。ただし、硬貨の表と裏の出方は、同様に確からしいものとします。

2枚の10円硬貨を同時に投げたときの硬貨の表と裏の出方の起こり得るすべての場合は4通りで、2枚とも裏の出る出方は1通りであることから、確率を求めることができる。 解答 … $\frac{1}{4}$

◎ 生徒の生活や学習状況について（生徒質問紙の結果から）

生徒質問紙は、生徒の生活や学習の様子をアンケート形式で問う調査のことです。生活のさまざまな側面や豊かな心の育成に関わること、学習環境や授業等の教育活動などへの問いがあります。以下に、本校の結果と特徴をまとめました。

【豊かな人間性（人権教育・キャリア教育）に関すること】

本校の生徒は、全国の結果と比べてほとんど上回っています。その中でも、特に『いじめはいけない』、『人の役に立つ人間になりたいと思う』は100%でした。さらに、将来の夢や目標に対して失敗を恐れず、自分に自信を持ち、いろいろなことに挑戦してほしいと思います。

質問項目	本校	比較	全国
自分には、よいところがあると思う	92.9	>	83.3
将来の夢や目標を持っている	67.1	≒	66.3
人が困っているときは、進んで助けている	88.6	<	90.1
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う	100.0	>	95.7
人の役に立つ人間になりたいと思う	100.0	>	95.2
学校に行くのは楽しいと思う	84.3	≒	83.8
普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはありますか。	91.4	>	89.2

数値は、各質問に「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合（%）

【家庭生活（生活習慣）に関すること】

質問項目	本校	比較	全国
朝食を毎日食べている	91.5	≒	91.2
毎日、同じくらいの時刻に寝ている	82.8	>	80.7
毎日、同じくらいの時刻に起きている	91.4	<	92.5

数値は、各質問に「している」「どちらかといえばしている」と回答した割合（%）

【学習習慣（家庭学習や自主学習）に関すること】

家庭学習時間は、全国とあまり差はありませんが、本校の生徒の家庭学習時間は、かなり少ないです。自分の夢・目標に向かって努力が必要です。このままでは……。

質問項目	本校	比較	全国
分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできている (「よくしている」「ときどきしている」回答した割合%)	88.6	>	78.6
学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たり1時間以上、勉強している(塾などを含む)	62.9	<	64.3
土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たり1時間以上、勉強している(塾などを含む)	68.5	>	63.0